



2016年9月29日

報道関係者各位

生産シミュレータ GD.findi が「2016年度 グッドデザイン賞」を受賞

株式会社レクサー・リサーチ（代表取締役／中村昌弘、本社／鳥取市千代水）のクラウドベース生産シミュレータ「GD.findi」が、「2016年度 グッドデザイン賞」を受賞したことを発表いたします。



■受賞製品の紹介

GD.findi は製造業における生産ラインのデザインに利用する生産シミュレーションを提供するクラウドサービスです。生産シミュレーションは生産ラインを仮想化し、最適なデザインを導くことができるため、複雑化する製造業においては不可欠な技術です。しかし従来の生産シミュレーションは、特殊なプログラミングを必要とするためシミュレーションの専門家でなければ利用できませんでした。そのため、本来生産シミュレーションを直接利用すべき技術者が利用できず、専門家に委託せざるを得ませんでした。このようなやり方では生産現場において様々な課題を抱えることとなります。

GD.findi の特徴は、従来、専門家向けであった生産シミュレーションを、製造技術者が広く利用できるようにしたことです。具体的には、生産ラインを構成する生産プロセスや工場レイアウトをデザインする新しい方法を発明しました。ここでは製造技術者でもクラウドを通じてシミュレーションを利用し、自身で生産ラインをデザインできます。



■ グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで60年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は45,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

■ 審査委員からの評価コメント

業務を効率化するために存在するシステムにおいては、業務改善とシステム利用との間には大きな溝が存在する。その溝のために、システム化による効果が十分に得られない場合が多い。一般的には、製造業における生産シミュレーションの利用には特殊なプログラミングとモデリングが必要とされるために、生産シミュレーションを有効活用することは容易ではなかった。ユーザとシステムとの間の溝を埋めるために、システムをクラウドサービス化するとともに、プログラムに関連する知識を必要とせず、直感的に生産システムのシミュレーションを実行、検証できるユーザーインターフェイスには秀逸なアイデアが込められている。高度な知識、環境の必要性を前提としていたエンジニアリングシステムが誰でも、何時でも、何処でも実行できるようになると、様々な問題解決のスタイルが期待される。

今回、製造技術者が直感的に実行できるユーザーインターフェイスとしてご評価頂きました。このことは、今まで、日本のモノづくりの在り方に対して深い議論を重ねさせていただきました数々のお客様、当社の活動を支えて頂きました支援関係者の皆様、そして、当社社員全員の一丸となった活動の成果であり、賜



物と思っております。

関係の皆様方には、この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げるとともに、ご報告させていただく次第です、有難うございました。

今回の受賞を機に、今後もますます、モノづくりへの貢献活動を進めていく所存です。引き続き、お客様、関係者の皆様方と一緒に、新しいものづくりの在り方に向かって挑戦していきたい、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

□グッドデザイン賞オフィシャルサイト

<http://www.g-mark.org/>

□弊社製品ページ

<https://www.g-mark.org/award/describe/44496>

株式会社 レクサー・リサーチ

代表取締役 中村 昌弘（工学博士）

【連絡先】

株式会社 レクサー・リサーチ

担当者 中村昌弘（代表取締役）

E-mail: nack@lexer.co.jp

鳥取本社 鳥取市千代水二丁目9 8 番地

0857-37-3333

東京オフィス 東京都千代田区東神田2 - 3 - 3 東神田藤和ビル6 F

03-5821-8003

以上